

■先週・今週の事務局からのお知らせ

先週・今週のお知らせは特にありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.北海道の港湾・漁港技術開発ビジョン、持続可能なみなとづくりへ

北海道開発局は北海道の港湾・漁港の技術開発ビジョン～持続可能な北のみなとづくり技術開発宣言～を公表した。同ビジョンでは、▽A Iを活用した岸壁作業の効率化、▽ブルーカーボンによる炭素貯蔵、オホーツク海の洋上風車に作用する氷力の算定、▽気候変動による北海道沿岸の海象変化の推計や積雪寒冷地におけるコンクリートの自己治癒の実現等に取り組む。また、これまで利用が進まなかった技術開発があったことを踏まえ、新たな取組として開発した技術の社会実装の方策を講じる。

将来像実現のための重点技術開発では、▽積雪寒冷港湾のターミナル自働化技術、▽エプロン上の漁業作業の最適化技術、▽ブルーカーボンによるCO₂固定効果の定量化技術、▽洋上風力発電施設に作用する氷力算定技術等。

2.姫路港水深 14m岸壁第 2 バースに今年度から着手

近畿地方整備局神戸港湾事務所は令和 3 年度の新規事業として、姫路港広畑地区国際物流ターミナルに着手する。3 年度は次年度以降の現地着工に向け、対象岸壁の調査・設計、深浅測量などを予定している。

広畑地区では大水深の国際物流ターミナルとして現在、水深 1 4 m岸壁 1 バース延長 2 8 0 mが供用している。ただ近年は港湾背後への企業立地が進み、貨物量に応じきれない状態。このための水深 1 4 mの第 2 バースが新規着工として認められている。

昨年度に事業化検証調査を進めて来ており、3 年度は同調査結果を踏まえて着工への準備調査等を行う。

3.CNP形成マニュアル骨子、港湾局が 6 地域の検討結果まとめ

国土交通省港湾局は4月2日、カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画作成マニュアル骨子をまとめた。2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CNP形成のための計画を作成する具体的な取組や手順を整理している。

港湾局ではコンテナターミナル、バルクターミナルのうち多様な産業が集積する6地域の港湾（小名浜港、横浜港・川崎港、新潟港、名古屋港、神戸港、徳山下松港）を事例として、地域ごとにCNP検討会を開催し議論を進めてきた。

港湾局では今後、令和3年度に有識者等の意見も聴取しつつ同年度内にマニュアル（初版）を策定、CNP形成の取組を全国展開していく。

4.港湾局、管理分野サイバーポート。素案作成、今後システム設計

国土交通省港湾局は3月25日、港湾管理分野（港湾行政手続きの電子化、並びに調査・統計業務の効率化に向けた電子化）を対象とする第3回サイバーポート検討WG（小野憲司座長）を開催し、令和2年度の検討結果としてシステムが備えるべき機能の素案をまとめた。引き続き関係者へのヒアリングなどを行い今年度の下半期以降にシステムの設計・構築へと進めていく予定。

第3回サイバーポート検討WGの議論のうち、「港湾行政手続きの電子化機能」に係わる今後の取組では、上半期に素案に対する関係者へのヒアリングを行って意見や全体業務フロー及び具体作業内容・課題等について検討。下半期以降に▽システムの設計・構築・テスト、▽デモンストレーションの実施・意見反映等を進め内容を深めていく方針。

※港湾空港タイムス4月12日号から編集

※新たに導入した PC とメーラーの環境では、添付ファイルが「***.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////